

平成25年度第5回 新たな市政運営の総合的な指針に係る庁内策定検討  
委員会

日時 2013年6月27日（木）

午前10時

場所 災害対策本部室

日 程

1 開会

2 議題

(1) 検討委員会及び専門部会の開催結果について（資料1-1～1-3）

(2) 議員全員協議会の開催結果について（資料2）

(3) 分野別重点課題調査について（資料3-1, 3-2）

(4) 指針の名称について（資料4）

(5) その他

3 閉会

（事務局 企画政策課 内線2171）

平成 25 年度第 4 回新たな市政運営の総合的な指針に係る庁内策  
定検討委員会

1 日時 2013 年 6 月 7 日（金）午後 5 時 5 分～7 時 20 分

2 議題

(1) 市長挨拶

策定検討委員会も 4 回目になるが、だいぶ固まってきたと思う。今日概ね整理ができればと考えている。

(2) 合同検討会議及び専門部会の開催結果について

質疑なし

(3) パブリックコメントの実施結果について

質疑なし

(4) 一次案（専門部会案）について

- 資料 3-4, 4 ページ（2）公共施設の老朽化だけではなく、道路、下水等も含めた表現としていただきたい。（高橋部長）
- 庁内パブコメの中にも総合計画を踏襲したほうが良いという意見があった。総合計画の課題についての原則的な部分について触れていないので、書いておいたほうが良いと思う。
  - ▶ 2 月 8 日の全協において言及はしているので、簡潔に記載していく。
  - ▶ 資料調整のなかで整理する。
- 資料 3-1 で、第 2 章の重点方針の「重点施策と取組方針」は分けたほうが良い。財政見通しと評価は別途位置づける。資料集中の「重点方針に関する現状と予測」は、指針本編と重複するのではないかと思う。
  - ▶ 財政見通しと評価を位置づけるということを示したものであり、そのまま記載するというイメージではない。
  - ◇ 取組方針と評価が結びつかないという印象である。
- 前回の時に分野別重点課題には課題が出揃っていて、その中でこれを重点化するという方向ではなかったか。

- ▶ 重点課題のみを示して、それを裏返す施策を置くということ  
で考えている。
- 課題として捉えている内容を明確化して示した中で、重点化したものはこれですというものが良いのではないか。
  - ▶ プロセスとしてはそのような流れであるが、抽出されたもの  
のみを書こうと思っている。資料集の中に位置づけるというよ  
うな方法を検討したい。
  - ▶ 分野別重点課題を特定化することで「重点」であることを強  
調していくことが必要であるという判断である。
- 資料3-2 2ページの市民センター・公民館との意見交換だけ  
が具体的過ぎるので、一端資料から外したほうが良いのではないか。
- 検討する。市民センター長，公民館長への部分のみで，担当主幹  
の部分は削除する。
- 非常に分かりやすくまとまってきたという感はあるが，言葉とし  
て相応しいかどうかという点について（取組方針等は）整理する必  
要がある。ただし方向性としては考えていたものになりつつある。  
資料3-4の都市像の考え方は課題であると思う。キャッチフレー  
ズと都市像を両方位置づけるのが厳しい面がある。議論の必要があ  
ると思う。市長の考えで決めていただくということかとも思う。（副  
市長）
- 方向性は良い。キャッチフレーズをどうするのか，市長に選んで  
貰うのかという議論，理論武装が必要である。基本目標は，施政方  
針から持ってきているが，主体がそれぞれ違っているので，「○○  
が」というものを意識して，整理する必要がある。（例：市民が元  
気になる→元気な市民を増やす。）重点施策については，地域の計  
画部分がなくなっているのので，そこの説明はどうなるのか，経過に  
ついての説明ができるのか気になる。用語の整理，資料間の整理が  
必要である。特長，地勢等の表現も整理したほうが良い。一般的な  
用語にしていきたい。
  - ▶ 言葉，用語の整理は精査していきたい。表現は分かりやすく

をモットーにしていきたい。8月までには整理したい。一次案については、内容を説明するということで進めていきたい。地域の計画部分については地域での意思統一はされていない状況である。事務局としては街づくりのテーマ、取組については位置づけていく考えであること、市民センター・公民館を主語とすることを想定している。

- 地域については資料3-1の重点方針のなかに地域課題を含むという方向で何かしら書いておく必要がある。
  - 限られた財源を重点化するという意味で重点課題を抽出することを各部長が想定しておいていただく必要があると思う。(副市長)
  - 資料3-3ぐらいまでは出したほうが全協でイメージしやすいと思う。フレーズはあくまでも例示として出せないか。資料3-4については検討の進捗状況からすれば書き込み過ぎである。
    - ▶ 資料3-1に肉付けする。
  - 資料3-4の2ページ、都市像の具体的な内容は整理しなければならない。市民～パートナーシップはマルチパートナーシップが良い、産業、観光が栄えることによってだと、そうでないとならないように感じてしまう。
  - 全体のスキームの話で、総合計画の課題として、市長が変わっても持続できる仕組みとして、公約のタイトルを表紙の下に入れ込んで、そこを入れ替えれば良いと思う。市長が代わったら使えない仕組みにならないように意識していく必要がある。5つビジョンの溶け込ませ方なども注意して欲しい。(副市長)
  - 5つの都市像を削り、基本目標のなかで市長公約(5つのビジョン)について説明していく。
  - 全協資料は、資料3-1の肉付け、資料3-2、資料3-4のフレーズを省き内容を明確化したもので整理していく。
- (5) 目指す都市像のキャッチフレーズについて
- 最後は市長に決めてもらうしかないとは思う。
  - 案の1「郷土愛あふれる藤沢」が良い。説明文もすんなり入って

くる。キャッチフレーズはあったほうが良い。

- 案の1に「～湘南の生活理想都市を目指します～」のように波型がつくのが良い。指針のなかで目立たないのであればなくても良い。
- 案の1が良い。これまで2年間やって来たという経緯もあり，行政計画として，特に浸透している。目指す都市像が分かりにくい。キャッチフレーズと案1の説明で足りていると思う。
- 都市像と基本目標は，選挙公約，施政方針を踏まえたこと，多様な都市像をワンフレーズでは表現しきれないこと，第1章に重点目標を基本目標として持ってきたことから重複感があるなかで仮置きをしている状況である。くどいという意見は専門部会でも多くあがっている。
- 「命と財産を守り～」の都市像と，「安全で安心な暮らしを守る」の基本目標は完全に重複している。整理していく必要がある。
- 行政上は必要ないが政治としては必要である。「あさいち」では藤沢は都会と田舎が同居するまちという風にNHKが持っている。未来に，前に，成長というイメージを沸かせる必要があると思う。そうしたメッセージ性を持っていくことも必要ではないか。「郷土愛あふれる生活理想都市」のようなものではどうか。
- 言葉としてみた場合，「郷土愛あふれる藤沢」に付け加えたほうが良いのではないか。「郷土愛あふれる藤沢～湘南の文化・産業・生活理想都市を目指します～」
- 同案で5つの都市像を削除する。都市像の説明のなかで足りない要素は書き足していくようにする。松風は北部で僻まれる。
- 郷土愛あふれる藤沢を使う。指針のタイトルに使う。「新たな総合的な指針～郷土愛あふれる藤沢～」などではどうか。そうした場合にキャッチフレーズに要素を限定（市歌，市民憲章，過去の将来像等の縛りをつける。）ことで，新たに決めていく。そのなかで未来志向，前向きさを出していく。（副市長）
- キャッチフレーズは浸透，発信が決め手であるので，大きく出していくことも大切である。（議会との関係整理は必要である。）

- 郷土愛は入れたい。少し長くしたい。「人にやさしい」「元気都市」、湘南を入れたほうが格好いいとは思いますが、湘南に藤沢が負けてしまうということもあるかも知れない。(市長)
- 「藤沢」の地名を削ったときに藤沢のイメージは描けるのか？藤沢の都市像と言えるのか。
  - 市長と事務局で整理をしていく。

平成 25 年度第 5 回新たな市政運営の総合的な指針策定検討委員会専門部  
会議事概要

1 日時 2013 年 6 月 19 日（水）午前 9 時～正午

2 場所 職員会館ミーティングルーム

3 議題

(1) 第 4 回専門部会の開催結果について

資料のとおり説明した。

(2) 第 4 回検討委員会の開催結果について

資料のとおり説明した。

(3) 指針（一次案）について

- ・ 「郷土愛あふれる藤沢～湘南の文化・産業・生活理想都市～」は、「理想」が追加されている。いつから提案されたものか。
  - ☆ 第 4 回検討委員会において、第 4 回専門部会以降の委員の提案をもとに事務局から提案したもののひとつである。
- ・ 地域まちづくり計画はどのようになる想定か。
  - ☆ 基本的な地域課題やまちづくりのテーマについて位置づけるような想定となっている。
- ・ 地域での事業の取扱はこれまでどおりなのか。
  - ☆ 地域でこれから事業の検証，選択を行っていく予定である。施策の位置づけについては，分野別の重点課題としてどのように位置づけられていくかによるものと考えている。

(4) 重点課題調査について

- ・ 市民サービスの影響は取り組みの成果に含める。課題内容のところだと，何もしなかったときの影響なのか，何かを取り組むことによる影響なのかが分かりづらい。
- ・ 緊急性を明確にする。「今，なぜ」やらなければならないのかを明らかにする。いつまでに着手しなければならないのかを記入し，重点課題の選定の際の拠り所にする必要がある。
- ・ 課題については，課題の背景・現状（となっている。状況である。）・ポイ

ント（必要がある。懸念される。）が必要である。

- ・ 重点化する理由は課題内容とは別にし、重要性・緊急性から「しなければならない。」点を記入する。相対的な重点理由を書かないことが重要である。
- ・ 取り組みの成果は、市民サービスへの影響を踏まえての3年間の取り組みの成果と長期的な効果を記入する。
- ・ 個別計画との関係については、予算編成方針示達後の重点事業調査の段階で行う。
- ・ 総務主管者会議で後追い説明して、課題の質を合わせる。
- ・ 一覧表が必要ではないか。
  - ◇ 部門で何個という考え方をなくしたいこと、部門横断的に課題をまとめて分野別の課題としたいことから、一覧表は作成しない。
- ・ 想定される重点事業との関係はあくまでも参考として扱う。すべての事業を想定するタイミングではないし、この段階で事業認定されたと思われてしまう可能性がある。
- ・ 4月の政策課題説明との差を明確にしておかないとダブっていると思われる。
  - ◇ 所属長説明会と総務主管者会議において説明する。政策課題説明はレベルあわせをしたり、深掘りをしたり、庁内での横断的な課題集約をしたりする目的ではなく、結果的にも事業実施上の問題点や考え方の確認、進捗報告を目的としているため重複はしていない。

#### (5) 市民ワークショップの進め方について

- ・ 医師会、商工会議所は別段にしたほうが良い。専門性や要望との関係もある。
- ・ ワークショップのなかでどのように対応するのか。
  - ◇ 職員と対峙するというスタンスでは行わない。
- ・ 告知の段階で職員への質問、意見の場ではないことを明確にしてほしい。
- ・ 資料はどのようなものを想定しているのか。
- ・ 郷土づくり推進会議資料、全協資料、分野別課題、重点施策の時点案を想定している。
- ・ 結果の反映についてはどのように想定しているのか。

◇ 指針の分野別課題，重点施策を確定し，８月７日に反映させる。事業意見については，パブコメを含め，各課に対応を調査し，戻すイメージで想定している。

- ・ 基本目標レベルで分けるのが良いと思う。基本８グループということ。
- ・ 専門部会からの声かけは，チラシ作成後にお願いしたい。
- ・ この件については，次回引き続き検討する。

平成 25 年度第 6 回新たな市政運営の総合的な指針策定検討委員会専門部  
会議事概要

- 1 日時 2013 年 6 月 25 日（火）午前 9 時～午前 11 時 50 分
- 2 場所 職員会館ミーティングルーム
- 3 議題

(1) 進捗状況等報告

ア 議員全員協議会の会派説明会の状況について

基本的な確認事項が中心であった。

イ 所属長説明会について

ほぼ全課に参加いただいた。特段の意見はなかったが、分野別重点課題の調査手法については検討委員会、総務主管者会議で改めて説明する。

(2) 第 5 回専門部会の開催結果について

資料に沿って説明した。

(3) 市民ワークショップについて

(出欠について)

- ・ 公平性から 1 日交替が良い。
- ・ 人数が想定されているのなら別だが、最低限の人数で行いたい。
- ・ できるだけ専門部会からの従事をお願いしたい。人数は働きかけによるので、PR をしていく。郷土づくり推進会議には既に周知している。市民の声を聞くということは積極的に声かけをしていく。

(周知方法について)

- ・ 市民活動推進センターの推進センターニューズレターに同封する。約 600 団体で比較的地域課題に関心のある方が多い。7 月 8 日（月）発送予定だと思うので、7 月 5 日頃までに市民自治経由で進めていく。
- ・ カラフルふじさわ（Facebook）で投稿する。
- ・ 子育て支援団体だと保育の有無も大きい。広報で追加して準備したほうが良い。
- ・ 湘南台はファミサポに話しをしておいたほうが良い。
- ・ 無作為抽出による案内は検討中である。

- ・ 団体ごとの対応は、ケースバイケースになると思う。
- ・ 手話はお願いしてみる。ワークと発表で対応が必要かも知れない。
- ・ 関係団体へのチラシ、案内状の作成を事務局で急ぐこと。次回又は次々回の検討委員会、部会には渡せるようにしたい。

(進行等について)

- ・ 設置、撤収は、企画政策部で対応する。
- ・ 主張がテーマに含まれていない参加者に対してどのように対応するのか。テーマに基づいていくのか、参加者のなかからテーマ設定していくかの動きはどのようにするかは決めておかなければならない。
- ・ その場での人数の帳尻合わせは難しい。事前に人数に対応するテーマ数を検討しておくべきである。
- ・ 専門部会員はファシリテーターなのか。
  - ◇ 何人かはお願いしたいと考えている。純粋な進行役と捉えている。
- ・ 個人意見を書く帳票を作っておく。
- ・ ポスターセッションや、模造紙に付箋を貼っていくようなイメージもあると思う。賛成票、「いいね！」のようなポイントをシールでつけていくのも良い。事業レベルの話題が多いと思われるので、施策に集約する作業を意見交換しながら進めていただく時間を設けたい。
- ・ テーマ別に10分セッションで区切っていけば、議論も進めやすい。
- ・ 事業レベルの要望の取扱いとしては、指針での検討と、担当課への情報提供という形が良い。市民相談情報課の市長要望を案内し、郵送してもらうのも可能であろうと思う。
- ・ 課題を鮮明にすればするほど答えが求められるので、そうした状況は回避したい。課題に対する主体性を市に問われてしまう。課題を曖昧にしておいたほうが良い。
- ・ 意見交換の趣旨を含めて、当日の発言のゴールとしてどういうレベルを期待されているかについては、例示をしておくことが必要である。
- ・ 市民は事業の話が中心になるので、施策レベルに昇華させることも必要である。グルーピングで処理する。
- ・ 事業の原因となる部分に焦点をあてて、課題を洗い出していくことが必要

である。

- ・ 事業に対する意見を出してもらい、それをグループ化することで施策化していくという作業フローが見えたほうが分かりやすいと思う。
- ・ 議論のルール説明（場の認識、ゴールと作業）を明確にしておくべき。
- ・ 進め方の認識を共有化するための質問時間を設ける。
- ・ 7月3日の専門部会に事務局案を提示する。3日で確定していきたい。
- ・ テーマ設定のレベル感がやはり難しい。ばらつきが出る可能性が高い。
- ・ 基本目標8本を基本としていくのだが、その中での議論のかみ合いをみて分けていく。1セッション目は網羅的で、2セッション目は決め打ち。メンバー数を見ての対応も必要である。
- ・ 自由に移動するやり方は難しい。疎外感やこれまでの経過が分からないのはマイナスである。
- ・ 2セッション目は、「発信・共感」「創造」「改善・発展」などの括りか、「未来に向けて今から」「これまでの改善」など
- ・ 模造紙での意見聴取が前提であれば書記は不要かも知れない。誰がどうゆう発表を進めていくのかも決める必要がある。
- ☆ 最後に発表の結果を模造紙として眺めてもらう時間を設ける。発表は市民が基本である。
- ・ 全体の流れは30分：説明、質疑：10分、1セッション目：自己紹介10分＋意見交換30分＋発表15分、2セッション目：自己紹介10分＋意見交換30分＋発表：15分（2時間30分）とすれば、4テーマと6テーマを仮設定しておく。
- ・ 各部長には出席を依頼していくが、意見交換に入るのは別問題かと思う。
- ・ 課題と課題の裏返しの施策を聞いていくことが重要である。そうでなければ市の考えを聞かれてしまう。数値データ等も用意しなければならない。
- ☆ 施策に対しても聞かれないことはない。教えていただく姿勢で傾聴すれば良いのではないか。来ていただいて、時間を割いていただいてありがたいという考えで臨むべきである。

#### (4) 指針の名称について

構成が決定したので、依然提案いただいたものを再考してご提案いただきました

い。

(4) その他

今後のスケジュールについて確認した。

## 市議会議員全員協議会の開催結果について

## 1 日時

2013年6月26日（水）午前9時30分～10時5分

## 2 質疑及び意見

質問 総合計画の見直しに当たって、「何故見直すのか」をきちんと、力をいれて説明をいただきたい。新総合計画では、中長期的な課題として公共施設マネジメント白書をもとに、将来の財源不足を予測した中での公共施設のあり方について、地域分権と考え方をもとに「地域で考えて判断する」という課題解決の仕組みを構築してきた。市長は、地域分権、分権的なまちづくりを目指しているのか、それとも中央集権的な考え方なのか伺いたい。

回答 新たな指針においても20年先を見据えながら進めており、より良い市にしていこうという気持ちは皆さんも同じであると思う。そうしたなかで、総合計画で雁字搦めにしてしまうよりも、舵取りがしやすいよう方向性を定めながら、毎年度の予算を重視し、議会にも関与をいたднаかで市政を進めていくことが重要であると考えている。地域分権についてはひとつの考え方であるとは思いますが、地域での意思決定というものには課題がある。

質問 地域主体のまちづくりでの意思決定は、選挙での負託を受ける二元代表制との関係を含めて無理がある。そのことが総合計画の見直しと指針の策定の大前提であるので、第一に説明をして欲しい。

意見 中長期的な課題として、人口動態の視点から保育ニーズを捉えた場合、待機児童対策として保育園を新設すれば良いというものだけではない。未就学児とその家庭を幼保連携等も含め全体として、また長期的に捉えていくことが必要である。喫緊の課題に取り組むとあるが、一方で長期的な課題は後回しという印象も受ける。そうしたところが薄いと思う。

回答 長期的な視点を踏まえた上で、喫緊の課題を抽出、重点化していくことによって、総合的、長期的に捉えたなかでの施策、事業展開ができるものと考えている。

意見 新総合計画は、市民も多く時間と労力をかけているので、そうしたことに配慮し、丁寧に、市民全体に、市長の考えをストレートに伝えて欲しい。

い。また、広報紙をはじめ、あらゆる機会を捉えて考えを発信し、市民周知を進めていただきたい。

意見 少子高齢化の指摘はあるが、これまでの既定路線、延長線上ではなく、将来を見据えつつ、現課題の解決を図る施策転換をお願いしたい。また施策展開に当たっては市内横断的な対応をしていただきたい。

意見 指針の策定には進めていただきたいが、市長の言葉で市民に広く伝えていただきたい。

2013年6月20日

各部長等

企画政策部長

## 分野別重点課題等調査について（依頼）

このことについては、（仮称）新たな市政運営の総合的な指針において重点課題を抽出し、重点施策を位置づけるに当たり、分野別重点課題等についての調査を実施しますので、お忙しいところ恐れ入りますが、次のとおりご提出くださいますようお願いいたします。

## 1 調査方法

別紙調査要領のとおり

## 2 提出期限

2013年7月8日（月）

## 3 参考資料

議員全員協議会「新たな市政運営の総合的な指針の考え方について」（6月26日開催）資料

以 上

（事務担当 企画政策課 三ツ橋，白井 内線 2173）

(別紙)

## 分野別重点課題等調査実施要領

### 1 調査の目的

(仮称) 新たな市政運営の総合的な指針において重点課題を抽出し、重点施策を位置づけるに当たり、各部の抱える分野別重点課題等を抽出することを目的とします。提出された課題については、庁内策定検討委員会で重要性、緊急性等を勘案し、決定していきます。

### 2 調査の対象

すべての事務事業に係る施策を対象とします。

### 3 調査方法

別添「分野別重点課題等調査票」により実施します。調査票は1課題1施策につき1枚(シート)とします。

### 4 記入方法

記載例を参考に作成してください。

#### (1) 部等名、所管課名

部課等の名称を入力します。ただし、今後想定される新規課題で所管が未定の場合については、部等名のみを入力します。

#### (2) 課題名称

課題の名称を入力します。課題は事業単位でなく、複数の事業により構成される「施策」を実施することにより改善、解決が可能なレベルのものとします。課題が複数の部に影響するものであっても構いません。

#### (3) 課題内容

区分に従い、課題が生じた背景・現状、課題の緊急性について入力します。

#### (4) 重点課題とする理由

課題に重点的に取り組まなければならない理由について入力します。ただし、他の施策と比較しての相対的な重要性ではなく、あくまでも課題自体を捉えた内容としてください。

(5) 基本目標（案）との関係

最も関連する基本目標（案）を1つ選択します。

（基本目標（案））

安全で安心な暮らしを守る，文化・スポーツを盛んにする，豊かな環境を創る  
子どもたちを守り育む，市民を健康で元気にする，地域経済を循環させる，都  
市基盤を充実する，市民自治・地域まちづくりを進める

(6) 課題を解決する施策名称

課題を解決するための施策の名称を入力します。

(7) 取組の方向性

施策について，何を実施することで，どのようなことが推進，改善，構築等さ  
れるのかについて入力します。

(8) 想定される取組の成果

取組の方向性に従い，事業を実施したときに生じる成果について，市民サービ  
スへの影響を踏まえた内容を入力します。短期的な成果と長期的な効果に区分し  
て入力しますが，事業完了時点からでない市民サービスとしての成果が生じに  
くい事業については長期的な効果のみの入力でも構いません。

(9) 想定される事務事業（参考）

想定される具体的な事務事業について，事業名，平成25年度予算が計上され  
ている場合は事業費，新規・継続の別を入力します。新規・継続の別については，  
平成25年度予算における新規事業及び平成28年度までに新規に予算要求を行  
うことが想定される事業を新規，平成24年度予算以前から実施している事業を  
継続とし，その他は空欄とします。

あくまでも想定，参考となりますので，すべての関連する事務事業を入力する  
必要はありません。

## 5 提出方法

部長等との調整後のものを，各総務課にて取りまとめの上，職員ポータルのメー  
ルサービスにより，企画政策課事務担当者あてに送信してください。

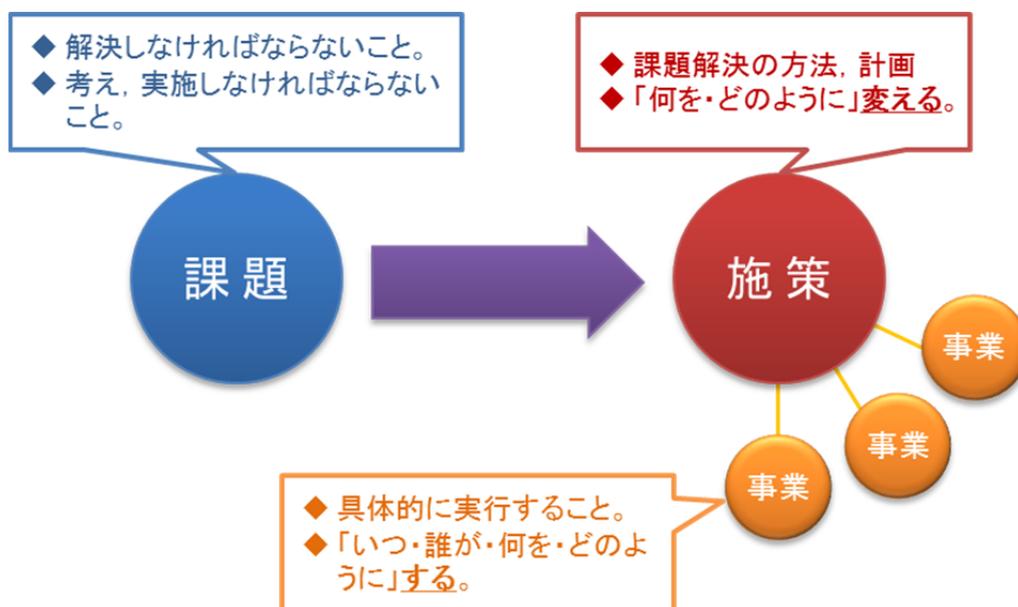
6 提出期限

2013年7月8日（月）

7 その他

- (1) 市議会での前向き答弁等も踏まえたなかでご検討ください。
- (2) 重点事業，長期的に取り組む重要案件，個別計画との関係等については，平成26年度予算編成方針が示達された段階で，改めて調査を行います。

8 参考 課題と施策，事業の関係



分野別重点課題等調査票

部等名		所管課名	
課題名称			
課題内容	(課題の背景・現状等)		
	..... (課題の緊急性)		
重点課題とする理由	(課題に取り組まなければならない理由)		
基本目標(案)との関係			
課題を解決する施策名称			
取組の方向性	(取組内容) ※何をどのように(推進, 改善, 構築等)するのかを記入		
想定される取組の成果	(短期的成果) ※市民サービスへの影響を踏まえた平成26年度から3年間の取組の成果		
	(長期的効果) ※市民サービスへの影響を踏まえた約20年後の効果		
想定される重点事業① (参考)	(事務事業名)		
	25年度事業費(千円)		新規・継続の別
想定される重点事業② (参考)	(事務事業名)		
	25年度事業費(千円)		新規・継続の別
想定される重点事業③ (参考)	(事務事業名)		
	25年度事業費(千円)		新規・継続の別

分野別重点課題等調査票

記入例

部等名	子ども青少年部	所管課名	保育課
課題名称	子育て環境の充実		
課題内容	(課題の背景・現状等) 育児を行う市民の勤労意欲の増加から、潜在的な保育需要は今後も年々増加することが見込まれている。また、少子化社会対策基本法では、急速な少子化の進行を踏まえ、従来の取組に加え、もう一段の対策を推進することが必要であることが位置づけられている。		
	(課題の緊急性) 潜在的待機児童への対処を含め、子育て世代の生活に密着する課題として対応する必要がある。また、子ども同士のふれあいの減少等により自主性や社会性が育ちにくいといった影響や、年金などの社会保障費用に係る現役世代の負担の増大、若年労働力の減少等による社会の活力の低下等が懸念されている。		
重点課題とする理由	(課題に取り組まなければならない理由) 子育て環境を充実し、子育て世代に対して、未来に希望を抱かせ、現実的にも働きながら子どもを育てることに幸せを感じる社会を形成することは、短期的な効果に加え、将来的な階層別人口の適正化、持続的な地域社会の構築に不可欠であるため。		
基本目標(案)との関係	子どもたちを守り育む		
課題を解決する施策名称	待機児童の解消		
取組の方向性	(取組内容) ※何をどのように(推進, 改善, 構築等)するのかを記入 保育システムの多様化・弾力化の促進, 低年齢児保育、延長保育、一時的保育事業の拡充, 保育所の多機能化のための整備, 充実等により多様な保育サービスを充実することで、待機児童の解消を進める。		
想定される取組の成果	(短期的成果) ※市民サービスへの影響を踏まえた平成26年度から3年間の取組の成果 短期的には仕事と育児との両立のための雇用環境が整備され、子育てに伴う経済的負担の軽減に寄与するとともに、子どもを育てることに幸せを感じる社会を形成することができる。		
	(長期的効果) ※市民サービスへの影響を踏まえた約20年後の効果 長期的には年齢階層別人口構成が改善され、健全な地域社会が持続できる。		
想定される重点事業① (参考)	(事務事業名)	家庭的保育事業費	
	25年度事業費(千円)	14,140	新規・継続の別 継続
想定される重点事業② (参考)	(事務事業名)	藤沢型認定保育施設補助事業費	
	25年度事業費(千円)	19,425	新規・継続の別 継続
想定される重点事業③ (参考)	(事務事業名)	幼稚園等預かり保育推進事業費	
	25年度事業費(千円)	11,580	新規・継続の別 継続

分野別重点課題等調査票

記入例

部等名	企画政策部	所管課名	企画政策課
課題名称	市内の魅力、特長の発見と発信による都市優位性の強化		
課題内容	(課題の背景・現状等) 今後も増大することが見込まれる社会保障費や都市基盤の再整備事業費を確保するためにも、人口や地域の生産、消費経済を維持向上することで、市民サービスの維持を図ることが可能となると見込まれる。		
	(課題の緊急性) 問題解決としての緊急性は高くないが、長期的継続的に多種多様な情報、イベントを統一したコンセプトにより実行することで効果が発揮されるため、早期に着手すべきである。		
重点課題とする理由	(課題に取り組まなければならない理由) 定住人口、交流人口、観光入込客数を増加させることは、歳入歳出の増加、地域経済、コミュニティの活性化等を図る上で政策的に重要であり、全ての施策への波及効果を考慮すれば重点的に取り組むべき課題であると <u>考えられるため</u> 。		
基本目標（案）との関係	地域経済を循環させる		
課題を解決する施策名称	シティプロモーションの推進		
取組の方向性	(取組内容) ※何をどのように（推進，改善，構築等）するのかを記入 都市の価値を市民に訴求し、市内外に浸透，波及させるシティプロモーションを基盤として，対象に応じた効果的なシティセールスの推進，地域ブランドの創出を統一的な考え方のもとに <u>推進する</u> 。		
想定される取組の成果	(短期的成果) ※市民サービスへの影響を踏まえた平成26年度から3年間の取組の成果 市の知名度，イメージアップによる，定住人口，交流人口，観光入込客数の増加，住みたいまちランキングの向上等が期待される。		
	(長期的効果) ※市民サービスへの影響を踏まえた約20年後の効果 地域の活性化が図られることによる，都市の優位性の維持向上と歳入歳出の安定化による市民サービスの維持向上が期待される。		
想定される重点事業① (参考)	(事務事業名)	企画業務関係費	
	25年度事業費(千円)	25,214	新規・継続の別 継続
想定される重点事業② (参考)	(事務事業名)	地産地消推進事業費	
	25年度事業費(千円)	4,198	新規・継続の別 継続
想定される重点事業③ (参考)	(事務事業名)	誘客宣伝事業費	
	25年度事業費(千円)	33,128	新規・継続の別 継続

## 分野別重点課題・重点施策検討スケジュール

**7月8日 各総務課提出期限**

事務局にて一覧作成

**7月11日 第6回検討委員会**

一覧及び個表に基づき、全体状況の把握、施策のレベルに関する調整及び専門部会での検討事項等の指示

**7月17日 第8回専門部会**

第6回検討委員会指示事項等に基づく検討、分野別重点課題・重点施策に部会案作成、二次素案（専門部会案）作成

**7月25日 合同検討会議**

分野別重点課題・重点施策に関する合同検討、二次素案に関する検討

**7月27日・28日 市民意見交換会**

分野別重点課題、重点施策等に関する市民意見の聴取

**8月5日 第9回専門部会**

分野別重点課題・重点施策に関する合同検討、二次案（専門部会案）に関する検討

**8月8日 合同検討会議**

分野別重点課題・重点施策に関する合同検討、二次案に関する検討

**8月26日 議員全員協議会**

二次案の報告、説明

**8月30日 幹部会議**

二次案及び予算編成方針（重点施策、）の説明

(参考)

## 市民意見提案の進め方について

### 1 開催目的

分野別重点課題，重点施策，取組方針に関する意見交換をワークショップ形式で実施し，指針の策定に反映する。

### 2 開催日程

#### (1) 湘南台公民館

2013年7月27日（土）午後1時30分～4時

#### (2) 明治公民館

2013年7月27日（土）午後6時30分～9時

#### (3) 鶴沼公民館

2013年7月28日（日）午前10時～午後0時30分

### 3 進行案

#### (1) これまでの経過説明

#### (2) 意見提案ワークショップ

ア 市民の提案説明からスタートし，意見交換を行う。

イ 分野別に職員との意見交換を行う。

#### (3) 発表

## 指針の名称について（専門部会委員提案）

**市政運営中期計画2014（正式名称）**

（理由）

民間でも長期計画よりも3～4年の中期計画を確実に実行しているのがトレンドらしいので、分かりやすい名称にしました。面白みがないので通称があった方が良いと思います。

**第一次藤沢市市政推進計画（正式名称） ふじさわ市政ナビ（通称）**

（理由）

重点化計画として事業までを位置づけるという点で「指針」ではなく「計画」とすること、「総合的」という手法ではなく、「市政」を「推進」するためのものであること、継続的な仕組みとして改定ごとに版を上げるという意味で「第一次」とすることからこの正式名称としました。通称については、市政を導くという意味を込めて「市政ナビ」としました。

**藤沢市市政推進計画**

（理由）

タイトルが市長交代時も基本的に変わらないという前提であれば、「〇〇ナビ」といった通称的なタイトルでない方がよいと思います。

**藤沢市まちづくり基本計画（正式名称）**

（理由）

ここ数年、新たな～、みんなの～等、長い名前の「簡易風名称」と通称がはやりましたが、あえて従来ながらのシンプル路線でも良いのではないのでしょうか？国の前政権がよく用いたこのような名称にみんなあきている？のではないのでしょうか？今後総合計画代わりに使用するのであれば、単純なほうが良いと思いますし、副題がわりにキャッチコピーを4年ごとに、市長の個性を反映して変えていけば良いと思いました。

## ふじさわ市政優先施策2014-2016

(理由)

名前をみて、何が書かれているかがイメージできるようにするため、特に横文字等を用いないようにしました。「藤沢市政」の「2014」から「2016」年までの「優先」的に進めていく「施策」。「ふじさわ」としたのは、少しでも柔らかいイメージを持ってもらうためです。

## 最適な生活空間をめざして(正式名称) 藤沢市航海予定表(通称)

(理由)

将来像に向けて進めるための帆船(藤沢市)をイメージし、メインセール(第一の帆)、ジブセール(第二の帆)それぞれに重要となるテーマを位置づけ、最終目的地(将来像)に向けて船を進めていくイメージしています。

## 第一次藤沢市市政推進実行計画<新たな市政運営の基本方針> 「ふじさわア

## クションプラン2016」

(理由)

計画が“絵に描いた餅”にならないよう、アクション(行動)という名称を使用しました。将来像の実現に向け、計画期間内における確実な行動(事業着手)に努めることを目的(目標)としたプランとします。

## 湘南ふじさわ重点政策2015

(理由)

「〇〇計画」では、市民には総合計画から何が変わったのかが分かりにくいため、名称から内容が伝わりやすいもので、かつシンプルなものとしました。

## ふじさわ市政cruise

(理由)

船に例えた鈴木市長が発言した言葉が頭に残っていて、cruiseを使ってみました。cruise=巡航=経済速度で走行する、3年~4年ごとに港による=その時々  
の経済等に合う方向を見直す…なんていかがですか？

ふじさわ市政基本構想（２０１４－２０１６）

第一次藤沢市基本計画（正式名称） ふじさわ未来プラン２０１６（通称）

ふじさわ未来予想図

ふじさわの設計図

ふじさわの進む道

ふじさわ未来構想

ふじさわ市政戦略

ふじさわ市政大鑑